

2024年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年8月1日～2024年7月31日)



発行日：2024年 9月 1日

改定日：2024年10月 7日



認証番号0006036

株式会社赤鹿建設

目 次

1. 会社の概要	・・・	P 2
2. 対象範囲（認証・登録範囲）	・・・	P 3
3. 推進組織図及び役割・責任・権限	・・・	P 3
4. 環境経営方針	・・・	P 4
5. 環境経営方針	・・・	P 4
6. 環境経営目標	・・・	P 5
7. 環境経営計画	・・・	P 6
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と その評価、並びに次年度の環境経営計画	・・・	P 7
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	・・・	P 8
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・	P 10

1. 会社の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社赤鹿建設
代表取締役 赤鹿 竜夫

(2) 所在地

本 社 兵庫県姫路市辻井一丁目1番23号

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務部係長 竹内 雅彦

連絡先 TEL：(079) 297-0883
FAX：(079) 296-2178

(4) 事業の概要

建築工事、土木工事、舗装工事

(5) 事業規模

年間売上高 4,373百万円(2022/8月～2023/7月)

	本社
総従業員	45人
床面積	1328.38㎡

(6) 建設現場等の概要 (2023/8～2024/7)

元請工事 15件
下請工事 0件

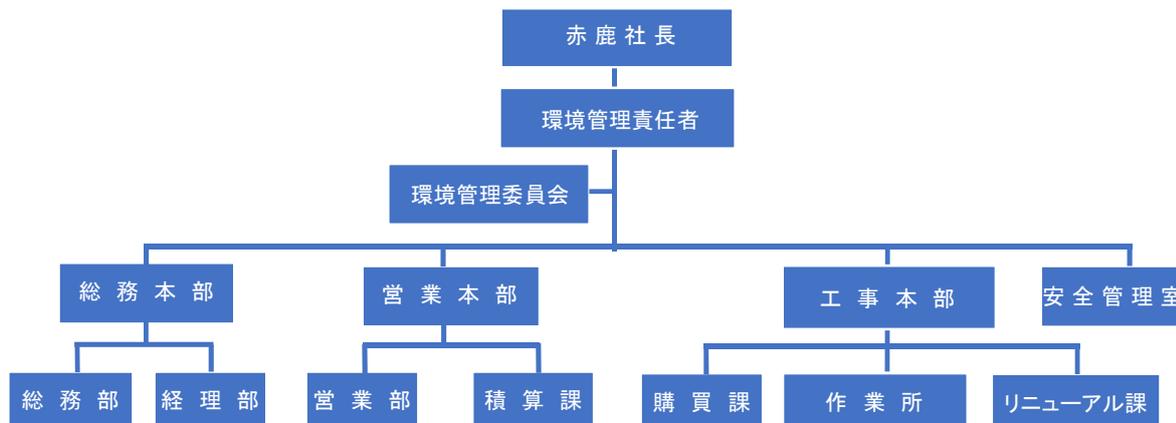
(7) 会計年度 8月16日～翌年8月15日

2. 対象範囲(認証・登録範囲(予定))

事業活動：建築工事業、土木工事業、舗装工事業
対象事業所：本社

3. 推進組織図及び役割・責任・権限

【推進組織図】



【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者(社長)	①環境方針を策定し、従業員に周知させる。 ②エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。 ③環境管理責任者、環境委員会等を任命する。 ④経営の課題とチャンスについて整理し、明確化する。 ⑤人、設備、資金等の経営資源を準備する。
環境管理責任者	①エコアクション21ガイドラインの要求事項を満たす経営環境システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる。 ②上記の結果を社長に報告する。 ③EA21文書類の承認をする。 ④環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する。
環境管理委員会	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する。 ②環境への負荷の自己チェックを実施する。 ③環境への取組の自己チェックを実施する。 ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する。
所属長及び全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う。 ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する。 ③自部門に関連する環境関連法規制等を遵守する。 ④自部門の教育・訓練を実施する。 ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする。 ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。
作業所長	①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる。 ②作業所の環境目標、活動計画の達成と実績の把握を行う。ほか

4. 環境経営方針

株式会社赤鹿建設 環境経営方針

「環境への貢献」に沿って、地域社会と事業の発展を調和させて持続可能な建設活動に努めます。

1. 関係する環境関連法規制等及び地元との協定を遵守します。
2. 事業活動に伴う二酸化炭素排出量削減に努めます。(電力、ガソリン)
3. 事務所の一般廃棄物の削減に努めます。
4. 建設工事に伴う廃棄物を削減し、リサイクル量の割合を増やします。
5. 紙の使用量削減に努めます。
6. 水使用量削減に努めます。
7. 顧客に環境配慮型商品に関する情報を積極的に提供します。
8. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。
9. 環境経営システムの継続的改善を図ります。

制定日：2009年 7月15日
改訂日：2024年10月 2日

株式会社赤鹿建設
代表取締役赤鹿竜夫

5. 主な環境負荷の実績

項目	単位	全社排出量				
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	36,854	49,665	47,462	48,783	55,343
事務所電力使用量	kWh	62,698	61,296	72,795	73,718	65,740
ガソリン使用量	ℓ	2,478.52	2,373.64	2,479.08	2,473.68	2,845.63
廃棄物排出量	トン	3,178.922	1664.262	3,985.020	8571.296	3169.854
一般廃棄物	トン	0.232	0.242	0.900	0.676	0.384
産業廃棄物	トン	3,178.69	1664.02	3,984.12	8570.62	3169.47
水使用量	m ³	489	678	431	369	357

使用した電力の二酸化炭素排出係数：0.334 kg-CO₂/kWh（関西電力、2018年度の調整後排出係数）

6. 環境経営目標

No.	環境経営目標	基準年度		2024年度				2025年度目標		
				目標		実績				
	二酸化炭素総排出量	89,027	2018年基準	万kg-CO ₂	-1%	88,136	-38%	55,343	-1%	88,136
1	【二酸化炭素使用量削減】	67,000	2019年基準	kWh	-2%	65,660	-2%	65,740	-2%	65,660
	事務所電力使用量の削減 (排出係数) 0.334	2.24								
2	【二酸化炭素使用量削減】 ガソリン使用量の削減	10.35	2019年基準	km/ℓ	1%	10.45	14%	11.80	1%	10.45
3	【一般廃棄物の削減】 紙使用量の削減	1.11	2016年基準	t	-3.0%	1.08	-5.0%	1.05	-3%	1.08
4	【総排出量削減】 水使用量(前年度比)	474	前年度比	m ³	-1%	469	-24%	357	-1%	469
5	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	82%	2017年基準	%	2%	84%	8.48%	88.94%	2%	84%
	問題発生を未然に抑える 取組の推進 ※4	—		%	評価ポイント 90%以上		2現場/2現場中 100%達成		評価ポイント 90%以上	

No.	環境経営目標	2026年度目標		2027年度目標		2028年度目標		2029年度目標	
	二酸化炭素総排出量	-1%	88,136	-1%	88,136	-1%	88,136	-1%	88,136
1	【二酸化炭素使用量削減】	-2%	65,660	-2%	65,660	-2%	65,660	-2%	65,660
	事務所電力使用量の削減 (排出係数) 0.334		2.19		2.19		2.19		2.19
2	【二酸化炭素使用量削減】 ガソリン使用量の削減	1%	10.45	1%	10.45	1%	10.45	1%	10.45
3	【一般廃棄物の削減】 紙使用量の削減	-3%	1.08	-3%	1.08	-3%	1.08	-3%	1.08
4	【総排出量削減】 水使用量(前年度比)	-1%	469	-1%	469	-1%	469	-1%	469
5	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	2%	84%	2%	84%	2%	84%	2%	84%
	問題発生を未然に抑える 取組の推進 ※4		評価ポイント 91%以上		評価ポイント 91%以上		評価ポイント 91%以上		評価ポイント 91%以上

※1 電力の二酸化炭素排出係数：0.334 kg-CO₂/kWh（関西電力、2018年度の調整後排出係数）

・化学物質使用量削減については使用していないため、目標に設定していません。

・LPGについては使用量が少ないため目標に設定していません。

★ ガソリン使用量については2022年が2503.68ℓ 2023年は2756.59ℓ 2024年は2845.6ℓ

★ 電力使用量については2022年が73718kwh 2023年は69200kwh 2024年は65740kwh

★ 2024年度リサイクル率=再資源化量2818.846 t / 産業廃棄物量3169.474 t × 100%

7. 環境経営計画

No.	環境経営目標	環境経営目標の達成手段	スケジュール					実施体制書
			全期	春期	夏期	秋期	冬期	
1	電力使用量の削減 (本社) (CO ₂ 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> 空調機の温度設定（夏期：28℃、冬期：20℃） 不要照明の消灯 エアコンフィルターの清掃（1年に1度） LEDへ順次交換を行う 「ブライト」稼働を効率良く運用する パソコンの省電力モードの活用 			○		○	総務部担当者
			○					
					○		○	
			○					
			○					
2	自動車燃料使用量の削減 ガソリン (CO ₂ 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ10のすすめを徹底する 車両の定期的点検 近場の移動は自転車を使用 	○					総務部担当者
			○					
			○					
3	紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 社内文書は裏紙使用 両面印刷使用 文書の電子化又は両面印刷や裏紙の使用などによるペーパーレス化 	○					総務部担当者
			○					
			○					
			○					
4	水使用量	<ul style="list-style-type: none"> 蛇口を開いたまま作業をしない 使用后、蛇口が閉まっているか確認する 一部自動水栓により節水しているので維持する 選択回数を減らす 食器洗いの回数を減らす 	○					総務部担当者
			○					
			○					
			○					
			○					
5	建設現場産業廃棄物のリサイクル率増加	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の分別徹底 マニフェストによる管理の徹底 	○					各現場所長
			○					
6	問題発生を未然に抑える取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 騒音・振動の低減 	○					各現場所長

8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

No.	環境経営目標 (環境経営方針との関連)	環境経営計画に基づき 実施した取組内容	評価 ※4	環境経営計画の実績 (2023年8月～2024年7月)			次年度の 環境経営計画
1	事務所電力 使用量の削減 (CO ₂ 排出量削減)	冷暖房温度を適正にする	◎	単位	kWh	ほぼ達成に近い数値になった。100%にならなかったのは、去年の夏場の電気代が目標を上回り、その影響で達成できなかった。	冬場のエアコンの方が電気使用量が多いという意識は浸透したが、それが仇となり夏場の意識が薄くなった。夏場の節電も心がける。
		IPソフイルタの清掃(半年に1度)	◎	目標	6.56		
		不要照明の消灯を行う	◎	実績	6.57		
		省エネ型蛍光灯へ順次交換	△	達成率	99 %		
		「ライト」稼働を効率よく運用する	◎	達成状況 ※5	×		
		「ライト」の省電力モードの活用	◎				
2	ガソリン 使用量の削減 (CO ₂ 排出量削減)	エコドライブ10のすすめを徹底する	○	単位	km/ℓ	目標達成できている。今後もエコドライブを意識して、丁寧な運転を心がける。	ガソリンに関して昨年1年間は、ほぼ計画通り実行出来ている。今後もこの内容で取り組んでいく。
		車両の定期的点検	△	目標	10.45		
		近場の移動は自転車を使用	△	実績	11.80		
				達成率	113 %		
				達成状況 ※5	○		
3	紙使用量の削減	社内文書は裏紙使用	◎	単位	t	社内文書の電子化を進めており、紙使用量が減っている。	電子化出来るところはほぼ完了している。次年度も更に電子化を進め紙使用量を抑える。
		両面印刷使用	○	目標	1.08		
		裏紙の使用による「バーレス化」	◎	実績	1.05		
				達成率	103 %		
				達成状況 ※5	○		
3	水使用量の削減	蛇口を開いたまま作業をしない	◎	単位	m ³	水の使用量自体が元々少ないので、いつもと少し違う使い方をするれば、すぐに増える。天候により今回は水やりが減ったため、達成できている。	次年度も同じく、使用に無駄が無いように心がける。
		使用后、蛇口が閉まっているか確認する。	○	目標	469		
		一部自動水栓により節水している	○	実績	357		
		ので維持する。	○	達成率	131 %		
		洗濯回数を減らす	◎	達成状況 ※5	○		
		食器洗いの回数を減らす	◎				
4	建設現場・産業廃棄物のリサイクル率増加	産業廃棄物の分別徹底	○	単位	%	目標達成出来ている。この水準を維持できるようにする。	次年度もさらに混載を減らすように分別を行なう。
		マニフェストによる管理の徹底	◎	目標	83.00		
				実績	88.94		
				達成率	107 %		
				達成状況 ※5	○		
5	問題発生を未然に抑える取組の推進	工事における下記の環境配慮活動の実施		単位	%	(実施した工事の環境配慮) 低騒音型重機使用 防音シートの使用	工事における環境配慮活動を更に徹底する
		騒音・振動の低減	◎	目標	90		
				実績	100		
				達成率	100 %		
				達成状況 ※5	○		
実施体制	実施体制(環境管理責任者、環境委員会並びに各目標ごとに設定された実施責任者)は有効に機能しており、これを継続する						

※3 達成率については本年度通年目標÷通年実績(但し燃費とリサイクル率は逆)

※4 評価:◎よくできた ○ほぼできた △あまりできなかった ×全くできなかった

※5 達成状況:○目標達成 ×目標未達成

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

適用される法令等	主な遵守すべき内容 ※	遵守状況
1 廃棄物処理法	処理業者との適正な契約並びに業者の許可証有効期限の確認	遵守
	マニフェスト伝票の管理（法定記載事項、照合確認、5年間保存）	遵守
	廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守
	マニフェスト交付状況の知事への報告（毎年6月30日までに）	遵守
	アスベストの記録	遵守
2 建設リサイクル法	1000 t以上の産業廃棄物排出の場合、産業廃棄物処理計画&実施状況報告書提出	遵守
	特定建設資材の再資源化（コンクリート、廃木材、アスファルト等）	遵守
	元請業者の発注者への再資源化に関する書面報告、並びに再資源化実施状況の記録作成と保存	遵守
3 騒音規制法	都道府県知事への事前届出の提出（工事着手の7日前まで）	遵守
	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前	遵守
4 振動規制法	特定建設作業は敷地境界線において、85dB(A)を超えないこと	遵守
	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前	遵守
5 大気汚染防止法	特定建設作業は敷地境界線において、75dB(A)を超えないこと	遵守
	解体等工事の受注者は、工事実施前に、特定工事に該当するか否かの調査を行い、発注者にその調査結果を記載した書面を交付して説明すること	遵守
	特定工事の発注者又は自主施工者は、作業開始日の14日前まで（兵庫県は工事開始日の7日前まで）に知事に届出	遵守
6 労働安全衛生法（石綿障害予防規則）	解体工事施工時に掲示板を設け、調査結果を掲示	遵守
	作業場には、石綿等の使用の有無に関する調査終了日、調査方法、結果の概要を掲示	遵守
	石綿等の除去作業、封じ込み・囲い込みの作業等は事前に所轄労働基準監督署長に提出	遵守
	作業場所の隔離、ろ過集じん方式の集じん・排気装置の使用などの処置	遵守
7 建築基準法	作業場以外の立入禁止とその表示	遵守
	居室の種類及び換気回数に応じて、内装仕上げに使用するホルムアルデヒドを発散する建材の面積制限	遵守
8 建築物省エネ法	居室を有する建築物へのしろあり駆除剤、クロルピリホスの使用禁止	遵守
	特定建築物を新築、増築若しくは改築又は特定建築物以外（政令で定めるもの）の建築物を増築するときは建築物のエネルギー消費性能基準に適合させる	遵守
9 浄化槽法	一定規模以上（300m ² ）の建築物の新築、増改築の工事着手日の21日前までに建築物のエネルギー消費性能の確保のための構造及び設備の計画を所管行政庁に届け出る	遵守
	毎年1回、指定機関による検査を受ける（11条検査：(ア)外観検査、(イ)水質検査、(ウ)書類検査）	遵守
10 消防法	毎年1回、保守点検及び清掃の実施並びに記録の作成	遵守
	防火管理者の専任（工場・倉庫・事務所は50人以上）及び所轄消防署長への届出	遵守
11 フロン排出抑制法	消火設備の定期点検、消火器の有効期限少量危険物の届出、点検	遵守
	解体工事の際に、事前にIPACを使っている場合確認。発注者へ説明し適正処理を実施。	遵守
	空調機の簡易点検（3か月以内ごと）及び廃棄後3年間までの記録保存	遵守
13 自治体との災害時応援協定	・廃棄時におけるフロン類の回収依頼書又は委託確認書の交付	遵守
	・回収依頼書又は委託確認書並びに充填回収業者が交付した引取証明書の3年間保存	遵守
	災害発生時に応援派遣する	設備・体制確認

※ 紙面の都合のため、主要な遵守すべき内容を抜粋し、簡略的に記載しており、詳細は「環境法規制等一覧表兼順守評価記録」で管理している

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等は過去5年間、1件も発生しておりません。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し年月日：2024年 8月 1日

代表者：赤鹿 竜夫

作成者：竹内 雅彦

見直しに必要な事項		環境管理責任者の報告	代表者による評価	変更の必要性
環境経営方針	2 環境経営方針に示された環境への取組の基本的方向は現在も適切か	適切に実施できているので継続実施する	環境経営方針は変更しない	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
環境経営目標及び環境経営計画	5 環境目標、活動計画の達成状況は妥当か ・事務所電力削減(省エネ対策) ・ガソリン使用量削減(省エネ対策) ・紙使用量の削減 ・節水 ・産業廃棄物リサイクル ・問題発生を未然に抑える取組の推進 環境目標、活動計画のテーマ及び目標値は適切か	事務所電力● ガソリン使用量● 紙使用量の削減● 節水● 産業廃棄物リサイクル● 問題発生を未然に抑える取組の推進●	電気に関しては冬場のエアコンを控える方に重点をおいて努力してきた為、冬は電気代が減少してきた。今後は、年々猛暑がひどくなる中、無駄な使用をなくしたり、ブラインドで調整したりと工夫しながら電気使用量を抑えられるようにする。	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
その他の環境経営システム	3 環境負荷に大きな変化はないか 環境への取組状況に変化はないか 4 法規、条例の内容に変更はないか 法規制は遵守しているか 6 実施体制は効果的か 7 教育・訓練は実施されているか 8 外部からの苦情や要望は何か 9 実施及び運用は適切か 10 緊急事態への準備は適切か 11 取組状況の確認は適切か 問題の是正処置は有効か 12 文書・記録の作成と整理は適切か ※環境活動レポートの内容は適切か 事務所に備付、ホームページでの公開は最新版か	変化無し // // // 効果的 実施している 苦情あり・要望無し 適切 適切 適切 有効 適切	事務局社員に意識付けを行うとともに社員全員が、さらに環境に対する意識を持つように事務局が指導していく。	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
実施体制	実施体制は効果的であり、変更の必要性はないか		実施体制は継続する	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
前回の代表者指示事項のフォローアップ	前回の指示事項である、電気使用量の目標達成に対して、細かい数値で見ると若干足りないが、ほぼ達成できている。			
代表者の指示事項	冬場の電気使用量は抑えられているが、去年の8月、9月、10月の3カ月の夏場の電気使用量が増えている。夏場の電気使用量が抑えられるようにする。			

①見直しに必要な情報欄の番号は、環境経営システムガイドラインの必須項目(12項目)の番号を示す。※は環境活動レポートガイドライン

②評価は毎年1回(原則として8月)に実施する。

③環境管理責任者はトップの指示内容について直ちに実行し、その結果をトップに報告する。

●は良好 ▲は要改善 ×は問題あり

※次年度以降への展開を重点に記載する